



第 88 号
 平成29年11月30日 発行
 編集・発行
 (一社)新潟県サッカー協会広報委員会

アルビレックス新潟 J2 降格



ついにこの時を迎えてしまった。J1リーグ第32節、真冬を思わせる寒空の中、それでも残留をあきらめていない多くのサポーターの声援もむなしく、我がアルビレックス新潟の来期J2降格が決定してしまっ。勝利しても他チームの結果次第で降格が決まるというまさに崖っぷちを、一度ならず二度までも奇跡的に耐えしのいだ上、今節もホームでの熱い戦いによって勝利をもたらしてくれた。しかし、すべては遅すぎた。

三浦文丈新監督のもと、外国籍選手の総入れ替えを行い、昨年末のポゼッションスタイルから、よりシンプルに縦への早い攻撃を志向して新シーズンの開幕を迎えた。ところがなかなか波に乗れないチームは、第10節終了時点で1勝2分け7敗とスタートダッシュに失敗し、シーズン途中での監督交代となってしまう。新たに赴任した呂比須ワグナー監督の下、立て直しを図るもチーム初の6連敗や外国籍選手の契約解除など、浮上のきっかけをつかめないまま、とうとうこの日を迎えてしまった。

2004年に昇格後14シーズンをJ1で戦い、オリジナル10以外では最も長くJ1の座を守りながら、近年は毎年のように残留争い、ここ2シーズンは

どちらも15位で残留という薄氷を踏む戦いであった。原因は各種メディアにおいて検証がなされ、監督・選手の補強のあり方や外国人選手の継続性（ブラジルトリオ総入れ替えは初めてのこと）、サッカースタイルの変容による選手のプレーの迷いなどが聞こえてくる。J2リーグのレベルは年々上がり続け、降格チームが毎年苦戦していることから15シーズンをJ1に戦う来季は簡単ではないことが予想される。チームには、フロント、新監督

アルビレックス新潟 J1 年度別成績 (2004 ~ 2017)

年	順位 (J1)	試合数	勝点	勝	引分	負
2004	10位	30	37	10	7	13
2005	12位	34	42	11	9	14
2006	14位	34	42	12	6	16
2007	6位	34	51	15	6	13
2008	13位	34	42	11	9	14
2009	8位	34	50	13	11	10
2010	9位	34	49	12	13	9
2011	14位	34	39	10	9	15
2012	15位	34	40	10	10	14
2013	7位	34	55	17	4	13
2014	12位	34	44	12	8	14
2015	15位	34	34	8	10	16
2016	15位	34	30	8	6	20
2017	暫定18位	33	25	6	7	20

来シーズンは近年あまりお目にかかれなかった、ホームでの勝利ゲームが増えなくてはならない。来年の今頃、見事昇格を果たしたチームの歓喜を、4万人を超えるサポーターで埋め尽くされたスタンドから祝福すべく、新潟県サッカーファミリーを結集して応援したい。頑張れ！アルビレックス新潟!!!



※ 2017 年は 11 月 27 日までを入れております

2017 愛媛つなぐえひめ国体

愛媛国体を終えて ～次のステップへ～

少年男子監督 藤田 敬三

今回の愛媛国体では 2 回戦で大阪府に敗れ、初戦敗退でした。しかし想像していた以上に互角にやり合うことができました。大会に向かうにあたり、『受け身にならず、前線からハイプレッシャーをかけ相手に時間を与えず、奪ったボールをサイドに展開し、アタックキングサイドで躍動するサッカー』を発揮することがねらいでした。結果は 0-1 でしたが、国体の大舞台で優勝候補大阪府に対して、臆することなく大接戦を繰り広げることができたことは大満足のスコアを 1-1、2-1 にできなかったこと



とでは、監督の力量不足であり、選手は堂々と戦ってくれました。もちろん課題もありまして。「ゲーム強度の高さ」「ゲーム中のテクニク発揮」と「攻守が激しく入れ替わる中での適切な守備対応」は今後求めらるべきことだと感じました。

11 年連続で本国内に出場し、新潟県の育成の成果が十分に実ったことは証明できてきました。ここからが次のステップアップを求めていく段階だと思っています。新潟県としてはアグレッシブなサッカーを志向し続けていきながら、神奈川県・大阪府・広島県といった「本物」と対等に戦



愛媛国体を終えて

女子監督 田中 泰裕

10 月 2 日から愛媛県愛南町にて行われた愛媛国体にて、千葉選抜に 0-2 で敗れ一回戦敗退という結果に終わりました。新潟県サッカー協会ははじめ、関係者の皆様に感謝申し上げます。

チームを立ち上げた当初から主導権を握り、攻撃的にサッカーをしようということ活動してきました。北信越国体が終わり、9 月中は各チーム主要な大会が入っている為 2 回しか練習会を実施できませんでしたが、北信越予選同様に攻撃的に自分たちのよさを出していこうということ試合を迎えました。

試合当日は初戦ということもあり、選手にチームを到達させることができなかった私とも堅さがみられ狙ってできなかったような試合運びができませんでした。特に前半はパスやコントロールなどの基本技術の面で相手のプレッシャーでずらされてしまう場面や、いいタイミングで縦パスが入っていかず相手ゴールまで迫っていけない時間帯が続きました。選手交代などで自分たちがボールをもつ時間をつくり、サイドをうまく使いながら中盤の選手が前向きにプレーできるような状況を作り出さなかったのですが、上手く機能せず決定機も多く作り出せませんでした。試合終了となりまして。

とができなかった私とも力不足を感じますが、選手には今回の試合で経験した課題を所属チームに持ち帰りさらに向上してほしいと思います。

最後になりますが北信越大会、愛媛国体出場にあたりご支援、ご協力いただき誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。



皇后杯

第 39 回皇后杯全日本

女子サッカー選手権大会

女子委員長 佐野 裕子

11 月 4 日 5 日、皇后杯本戦 2 回戦を新発田市五十公野公園陸上競技場にて開催いたしました。昨年度に引き続き今年度も無事に運営出来ましたことに改めて御礼申し上げます。準備から当日までを支えてくださったアルビレックス新潟の皆様、県協会の皆様、そして両日は女子委員会はじめ各チームより 200 名近くものスタッフ、選手を派遣してくださり、各方面の皆様よりご協力をいただきました。

初日は天候に恵まれなかったものの、それを吹き飛ばすかのような大声援に包まれた会場。1 回戦を勝ち上がった新潟医療福祉大学、2 回戦からのアルビレックス新潟レディースの応援に地元から、また県外から沢山のみなさんが応援に駆け付けてくださいました。また、エスコートキッズに下越地区より FC 聖籠の女の子 11 名が参加してくださいました。

両日、JFA の方々の視察も入り緊張した中ではありましたが、僅かな時間来年度に向けてのご意見ご要望等をお聞きする良い機会にもなりました。

女子の環境はまだまだ厳しいところもありますが、この皇后杯が未来のある選手達の心に響くような魅力的なステージであって欲しいと願っております。新潟の 11 月は厳しい天候状況を考えながらの開催になりますが、出来れば来年度も多くの皆様より「新潟にいらしていただけたら」と思っております。今後ともよろしく御礼申し上げます。

皇后杯に参加して

新潟医療福祉大学
女子サッカー部
主将 松本 苑佳

11 月 4 日(土)三重県の四日市中央緑地陸上競技場にて岡山県作陽高校と対戦しました。緊張からか入り点が上手くいかず、序盤で得点を許してしまいました。しかし慌てることなく自分たちのリズムを取り戻し、逆転することができました。後半にも得点を重ねることができましたが、再び失点し、さらに試合終了間際にも一瞬の連携ミス突かれ、延長戦へともつれ込んでしまいました。苦しい時間帯もありましたが延長前半のセットプレーからの得点を守り切り、チームと



びができたと思います。サポートの皆様、会場運営の皆様には、普段どおり熱い、ホームの雰囲気を作っていたいただき感謝しています。ありがとうございます。

3 回戦は広島県で、同じなでしこリーグ 1 部の伊賀 FC くと戦いました。先制されたものの、厚みを持った攻撃を仕掛けることができ、4-2 のスコアで準々決勝へと駒を進めることができました。次戦は強豪、日テレ・ベレーザとの戦いになります。粘り強く、新潟らしさを存分に発揮し、準決勝、そして決勝へと勝ち進んでいきたいと思っております。

過去 4 度決勝へ進出したながらもあと一歩のところまで優勝を逃しています。年々優勝へと近づいている実感がありません。今年こそ

皇后杯

アルビレックス新潟
レディース
主将 中村 楓

アルビレックス新潟レディースは、タイトル獲得を達成すべく第 39 回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会に臨んでいます。11 月 4 日(土)、チームは緒戦(2 回戦)を新発田市五十公野公園陸上競技場にて迎え、4-1 で勝利しました。シーズンを通して戦うなでしこリーグとは違い、一発勝負のトーナメント戦は試合への入り方が難しいといわれていますが、チームにとって馴染みのある競技場で初戦を迎えられた事はメンタル・コンディショニングの両面でアドバンテージを得ることができました。雨の中での試合となりましたが、落ち着いた試合運営

したが中盤に差し掛かるとボールを持たれる時間が増え、その後 2 失点を許してしまいました。試合を通して球際の強さやゲーム運びでは経験値の差を感じ、また決定力などの課題も見つけました。しかし 90 分通して戦えたことは前向きに捉え、この体験を無駄にしないように頑張っていきたいです。

たくさんの方の応援ありがとうございました。



はタイトルを掴みとり、応援してくださいる皆様と喜びを分かち合いたいと思っております。新潟のサッカー界を盛り上げることができるようチーム一丸となつて戦いますので、応援よろしくお願いたします。

新潟

2017・新潟市 FBD/親子サッカー大会開催 (*^^)v

新潟市サッカー協会 理事長 佐々木 篤 行

9月3日、鳥屋野運動公園球技場におきまして『2017・フットボールデー/親子サッカー大会』を開催致しました。

新潟市内ジュニアチームの選手・OB/OG・保護者さんチームでの対抗戦を中心としたフェスティバルを開催致しました。

試合は、ジュニアチーム（各学年）はいつも練習している通りのプレーや、それ以上の気持ちのこもったプレー、活気に満ち溢れたプレーの連続でした。又、保護者との対戦になるとより一層気迫溢れるプレーが多く見られました。

コンディションも最高で、ピッチ上は笑顔と飛び散る汗とで、すごく嬉しそうな素晴らしい大会になりました。

当日、午後からは地元社会人サッカーの公式戦も行われ、日頃見る事のないカテゴリーの試合観戦もでき、スピード感溢れるパスワーク・レベルの高い個人技・シュート……などの素晴らしいプレーを見られました。

今回の『2017・FBD/親子サッカー大会』は、『サッカーを楽しくプレーし、笑顔があふれ、年代を超えてできるスポーツ』である事を感じ、この大会を来年も継続しサッカーファミリーの輪を一層広げていきたいです。

各カテゴリーの壁がなく交流の場を提供し、沢山の「笑顔あふれるフットボールデー」になるよう、今後も開催していきたいと思っております。

尚、当日参加していただいたチームの皆様、運営にご協力いただいた関係者各位には、心より感謝し御礼を申し上げます。誠に有難うございました。



中越

「JFAフットボールデー 2017 in 十日町市」を開催して

中越地区サッカー協会 会長 若山 裕 (十日町市サッカー協会)

9月10日（日）に本年もクロアチアピッチにて「JFAフットボールデー 2017in 十日町市」を開催致しました。

昨年と同様に、サッカーを見たことあるけどボールを蹴ったことのない人や、学生時代に少しだけプレーをした方々など、サッカーを「する人」「観る人」「支える人」そして「応援する人」も対象とし親子67名の参加者で開催しました。

サブタイトル「なでしこキッズサッカースクール」と称し、親子でサッカーを通してスポーツの楽しさを知ってもらう内容は、大好評な手つなぎサッカーや複数ゴールでの試合でしっかりと親子の絆を確認していました。親子以外のチームでは、今日出逢った大人と子供がしっかりと手を握り合い、お互いに思いやる姿は毎年素敵な光景でした。

世界基準クロアチアピッチの天然芝の感触を確かめるように全員で寝転んだり、子供チーム対親チームの変則ルールで対抗戦を行い、負けたチームは勝ったチームに対し賞賛をしっかりと贈り、勝者側はみんなで大ハイタッチし感謝の意を表していました。得点王には美味しいキャンデーのご褒美もありました。

全員で大きな輪をつくり全員で大ハイタッチをし、満面の笑みでスクールは終了しました。

来年も是非開催を望む声が多くありましたので、来年度に向けて多くの方々のご協力を得ながら開催できればと思っております。



●●スマイル&チャレンジ●●

当協会にご支援いただいている法人各社

TONYテレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報
東北電力 総合生協 新潟県信用金庫協会
2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

2017フットボールデー

新潟県のフットボールデー事業について

新潟県サッカー協会では、新潟市・上越・中越・下越の4地区で「JFAフットボールデー」を開催しています。広い新潟県でより多くのサッカーファミリーの方にご参加いただきたく4地区に分け実施しています。

近年では、新潟市は「レディース&親子サッカー大会」、上越は「上越ふれあい杯サッカー大会」、中越は「フットボールデー in 十日町」と題しての親子参加事業、そして下越は「親子サッカー教室」など、地域の皆様にご期待いただける地元ならではのプログラムを提供しています。

今後とも継続して実施しますので、より多くの方のご参加をお待ちしております。

【JFAフットボールデー】とは

より多くの方々にサッカーに親しんでいただき、サッカーファミリーを増やしていくことを目指して、2008年からJFAと都道府県サッカー協会が全国各地で開催しているフェスティバルです。JFAの創立記念日である9月10日(日)を中心に、それぞれの都道府県サッカー協会が、普段サッカーをしたことがない人でも気軽に参加できるような様々な内容の企画を立案し、実施しています。2016年度は全国50会場で16,901人が参加しています。

下越

下越地区サッカー協会 理事長 国枝晴隆

新潟県下越地域を対象に、スポーツを楽しむ、サッカーを楽しむ、そして、家族の絆を深めるための時間を創出することを目的とした親子ふれあいサッカーを、2017年9月17日(日)五十公野陸上競技場(グリーンスタジアム)で行いました。

午前中 前半8:00~10:00は低学年によるミニサッカー大会を、下越地区サッカー協会に所属する各チームから集めて楽しく行いました。

後半10:00からはスポーツに初めて触れるキッズや、サッカーを始めたばかりの小学生、中学校でもサッカーを続けたい女子などを主体に、これから先にサッカーファミリーの主役となる子どもたちにとって素晴らしいイベントになりました。

今年度は親子を含め300名近くの動員があり、次世代につながる多くの子どもたちがサッカーとふれあうことができている。これからも、選手・審判・指導者という登録者だけでなく、愛好者や多くのサポーターを含めたサッカーファミリーへ、サッカー環境を充実していくことに取り組んでいきたいと思っております。そして、更なるサッカーファミリー人口の増加、そして下越地区全体のサッカーレベルの向上を目的に更なる飛躍をめざして、努力、邁進していく所存であります。

最後に

(一社)新潟県サッカー協会が掲げる「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。」という理念にもう一度立ち返り、明確な目標をもって進んでまいります。

今後とも下越地区サッカー協会をご支援いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

上越

【上越地区のJFAフットボールデー】について

今年度9月開催予定の「上越地区フットボールデー」は、会場の都合で中止となりました。現在、上越地区サッカー協会では平成30年1~3月内に室内施設でフットボールデーの開催に向け準備・調整中です。サッカーファミリーの方々にはご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。

東日本大震災 復興支援

がんばろう ニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

NiFA パラ・サッカー フェスティバル 2017

1種委員会 石附 秀一

10月1日(日)長岡市。屋内人工芝コートにて、NiFA パラ・サッカーフェスティバル 2017 が開催されました。

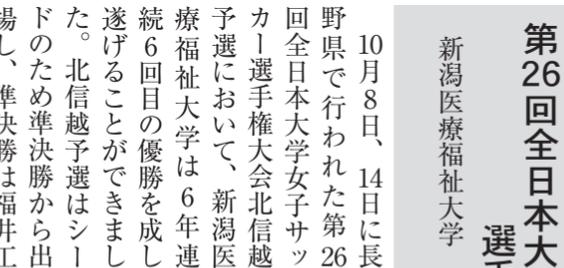
内容は、屋外人工芝コートでは、アルビレックス新潟スクリューによるサッカー教室、参加者全員で行ったアルビレックス新潟スクリューの普及イベントでしたが、参加された皆様は笑顔で楽しんでいました。

二回目の障がい者サッカーの普及イベントでしたが、参加された皆様は笑顔で楽しんでいました。

二回目の障がい者サッカーの普及イベントでしたが、参加された皆様は笑顔で楽しんでいました。

告知、周知が今年も出来なかった事、他の障がい者サッカーカテゴリーの参加が出来なかった事は来年以降の改善として取り組みたいです。

フェスティバルを運営するにあたって、一種委員会等協会事務局、長岡市サッカー協会のご協力、当日の運営にご協力いただきましたJAPANサッカーカレッジの学生の皆様、審判委員会の皆様、フェスティバル内容の要となるハットトリック、パラボックス、ブライインドサッカー協会の皆様、特別教室を



行ったアルビレックス新潟様、会場提供していただきました長岡ニュータウン運動公園の皆様にはご尽力いただき誠にありがとうございました。

これからの新潟県障がい者サッカーの発展を温かく見守っていただければと思います。

ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後にになりましたが、約100名の参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

第23回全日本フットサル選手権大会 新潟県大会

決勝ラウンド

準決勝、決勝戦

日時：12月24日(日)

会場：新潟市体育館

準決勝

10時20分～12時00分

A1位 VS

準決勝

12時20分～14時00分

B1位 VS C1位

準決勝

14時20分～16時00分

D1位 VS E1位

準決勝

16時20分～18時00分

F1位 VS G1位

準決勝

18時20分～20時00分

H1位 VS I1位

準決勝

20時20分～22時00分

J1位 VS K1位

予選ラウンド

A予選

日時：平成29年11月12日(日)、19日(日)

会場：上越市総合体育館・長岡市北部体育館

B予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

C予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

D予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

E予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

F予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

G予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

H予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

I予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

J予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

K予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

L予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

M予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

N予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

O予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

P予選

日時：11月12日(日)、19日(日)

会場：新潟市体育館

第23回日報杯 県選手権大会について

県選手権実施委員会 委員長 石坂 学

日本サッカーの整備・適正化を狙った「カレンダー改革」の第一歩は28年度の「96回・97回天皇杯」の県予選2大会分の日程調整・運営を行うという厳しい状況でしたが、関係者のご協力により29年4月に県代表を無事に選出できました。

平成30年「98回天皇杯」の県予選「新潟日報杯」・NHK杯・共同通信杯 第23回新潟県サッカー選手権大会」を平成29年11月19日(日)に開幕し、年度を跨いだ平成30年5月13日(日)に決勝戦が行われます。

今年大会もご指導のほどよろしくお願ひ致します。

新潟産業大学 サッカー部

3-2

CUPS 聖籠

'05 加茂 FC

日本サッカーの整備・適正化を狙った「カレンダー改革」の第一歩は28年度の「96回・97回天皇杯」の県予選2大会分の日程調整・運営を行うという厳しい状況でしたが、関係者のご協力により29年4月に県代表を無事に選出できました。

平成30年「98回天皇杯」の県予選「新潟日報杯」・NHK杯・共同通信杯 第23回新潟県サッカー選手権大会」を平成29年11月19日(日)に開幕し、年度を跨いだ平成30年5月13日(日)に決勝戦が行われます。

今年大会もご指導のほどよろしくお願ひ致します。

新潟産業大学 サッカー部

3-2

CUPS 聖籠

'05 加茂 FC

今年大会もご指導のほどよろしくお願ひ致します。

新潟産業大学 サッカー部

3-2

CUPS 聖籠

'05 加茂 FC

今年大会もご指導のほどよろしくお願ひ致します。

新潟産業大学 サッカー部

3-2

CUPS 聖籠

'05 加茂 FC

今年大会もご指導のほどよろしくお願ひ致します。

第26回全日本大学女子サッカー選手権大会に向けて

新潟医療福祉大学 女子サッカー部監督 安達 宏道

10月8日、14日に長野で行われました第26回全日本大学女子サッカー選手権大会北信越予選において、新潟医療福祉大学は6年連続6回目の優勝を成し遂げることができました。

北信越予選はシードのため準決勝から出場し、準決勝は福井工業大学に8-0、決勝では北陸大学に10-0でそれぞれ大差をつけて勝利することができました。

この予選を迎えるにあたり、本学は、プレナスチャレンジリーグで毎週高いレベルのチームと試合を

新潟医療福祉大学 女子サッカー部監督 安達 宏道



NiFA マスタープラン 2007 スタート

(一社)新潟県サッカー協会は、英語名 Niigata Football Association の略称を従来の NFA から NiFA に変更し、これを「ニーファ」と読みます。

また、新たなスタートを切る NiFA を象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーを GOAL に向かうサッカーボールで表現しました。さらに濃いブルーは新潟の空と海、地域に根ざした NiFA を表しています。NiFA はさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。



- NiFA の理念**
サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。
- NiFA のビジョン**
1.新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しみ環境を作り上げる。
他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする事で、県民の健康で豊かな生活をサポートする。
2.新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気・希望・感動をもたらす。
3.常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。
- NiFA の目標 2015**
2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。
(1)新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
(2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
(3)各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
(4)JFLに加盟するチームを育成する。
(5)各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。
- NiFA の目標 2050**
2050年にむけて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。
(1)新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
(2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出される。
(3)日本でFIFAワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。

第15回 県民共済カップ

○県民共済カップ第15回新潟県キッズサッカー大会 新潟県大会平成29年10月8日(日)、11月5日(日)

新潟聖スポーツセンターアルビレックス・デンカビッグスワンスタジアム

決勝

club F3
0-3

アルビレックス新潟U-12
アルビレックス新潟U-12

優勝

準優勝

club F3

第3位

ジェス新潟東SC、
グランセナ新潟FCジュニア

「県民共済カップ第15回新潟県キッズサッカー大会」優勝について

アルビレックス新潟U-12

監督 李 英漢

県民共済カップ第15回新潟県キッズサッカー大会で優勝出来たことを大変嬉しく思い

○第25回新潟県少年サッカー5年生大会平成29年10月21日(土)、10月22日(日)

新津金屋運動広場・阿賀野川多目的広場

決勝

KF3
3-0

グランセナ新潟FCジュニア

優勝

KF3

準優勝

グランセナ新潟FCジュニア

第3位

水原SS、
新潟ナポリFC三案ジュニア

kF3

第25回 新津カップ

この度、第25回新津カップ新潟県大会におきましてkF3クラブ史上初となる県大会優勝を果たしました。大会関係者の皆様はじめ、対戦チーム、応援して

監督 中沢 優

この度、第25回新津カップ新潟県大会におきましてkF3クラブ史上初となる県大会優勝を果たしました。大会関係者の皆様はじめ、対戦チーム、応援して

ます。この大会は4年生以下の大会でも大きな大会となつています。新潟県の120チーム以上のチームが参加されて規模も大きな大会となった事から地区大会から県大会まで大会運営に尽力された役員の方々、スポンサー協賛企業の皆様、素晴らしいジャッジで試合をコントロールしていただいた審判員の皆様にまずは感謝の言葉を申し上げます。ありがとうございます。

また、優勝できたのも対戦していたすべてのチームの選手、指導者のおかげであり、サッカークラブは対戦チームがいて初めて行動をよく観察しサッカーで起こる局面に対応できるようにトレーニングしてきました。その他、ボール扱う技術や仲間との協力する事の大切さを強調して

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

く下さいました全ての皆様はこの場を借りて厚く御礼申し上げます。今大会に向け、迫力のある攻撃・厚みのある守備を中心に取り組んで来ました。予選リーグでは相手の攻撃や守備を上回るプレーがなかなか出来なかったものの、翌日へ繋げました。決勝トーナメントでは初戦から力強さ・勝負強さを見せ、最後の決勝戦では一番いい試合をする事が出来ました。今大会の優勝をチーム目標としていたので、選手・スタッフ共々、とても嬉しく

監督 中沢 優

この度、第25回新津カップ新潟県大会におきましてkF3クラブ史上初となる県大会優勝を果たしました。大会関係者の皆様はじめ、対戦チーム、応援して

て成立する競技であることを大会通して改めて感じました。自チームの力を引き出してくれたのも対戦チームの選手であると考えます。チームの所でいいまま、この大会までにサッカー選手としてあるべき姿の追及、それはピッチとピッチ外の生活は一致しているとの考えの元に食生活、私生活、行動力、発言力、観察力など自ら考え行動できるように準備してきました。また、ピッチの中でもいつも対戦相手、味方選手の行動をよく観察しサッカーで起こる局面に対応できるようにトレーニングしてきました。その他、ボール扱う技術や仲間との協力する事の大切さを強調して

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

北信越大会出場にあり、子どもたち自身も今まで以上に練習に励んでおります。北信越大会優勝という目標に向かって、より8人の連携・連動を意識し迫力のある攻守を目指していきます。新潟県代表としての責任を持ち、力を最大限発揮出来る様、準備をしてまいります。

監督 中沢 優

この度、第25回新津カップ新潟県大会におきましてkF3クラブ史上初となる県大会優勝を果たしました。大会関係者の皆様はじめ、対戦チーム、応援して

ました。その中でたくさんの方の技術面、戦術面での失敗はありましたが自ら考え行動したなら未来に繋がる失敗だと思えます。それを継続してきたからこそ今大会の優勝に繋がったと考えております。これからも過去の失敗を成功体験に変えていくように、また、観ている多くの人から応援してもらえようという気持ちで取り組んでいきます。

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

北信越大会出場にあり、子どもたち自身も今まで以上に練習に励んでおります。北信越大会優勝という目標に向かって、より8人の連携・連動を意識し迫力のある攻守を目指していきます。新潟県代表としての責任を持ち、力を最大限発揮出来る様、準備をしてまいります。

監督 中沢 優

この度、第25回新津カップ新潟県大会におきましてkF3クラブ史上初となる県大会優勝を果たしました。大会関係者の皆様はじめ、対戦チーム、応援して

人、ガッツがある人、おとなしく優しい人など個性的な人が集まっています。一度、試合が始まればみんなチームのため仲間のために最後まで諦めず粘り強く攻撃も守備も本当によく頑張ります。

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

北信越大会出場にあり、子どもたち自身も今まで以上に練習に励んでおります。北信越大会優勝という目標に向かって、より8人の連携・連動を意識し迫力のある攻守を目指していきます。新潟県代表としての責任を持ち、力を最大限発揮出来る様、準備をしてまいります。

監督 中沢 優

この度、第25回新津カップ新潟県大会におきましてkF3クラブ史上初となる県大会優勝を果たしました。大会関係者の皆様はじめ、対戦チーム、応援して



上手にしていけるながら自分の持ち味のスピードと身体の強さ、左足のプレーをもっと磨きかけたいと思います。

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

北信越大会出場にあり、子どもたち自身も今まで以上に練習に励んでおります。北信越大会優勝という目標に向かって、より8人の連携・連動を意識し迫力のある攻守を目指していきます。新潟県代表としての責任を持ち、力を最大限発揮出来る様、準備をしてまいります。

監督 中沢 優

この度、第25回新津カップ新潟県大会におきましてkF3クラブ史上初となる県大会優勝を果たしました。大会関係者の皆様はじめ、対戦チーム、応援して

今年度下越地区では、11月11日(土)12日(日)にかけて聖籠スポーツセンターアルビレックスにて、新潟県女子サッカー選手権大会を開催しましたので、その報告をします。

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

北信越大会出場にあり、子どもたち自身も今まで以上に練習に励んでおります。北信越大会優勝という目標に向かって、より8人の連携・連動を意識し迫力のある攻守を目指していきます。新潟県代表としての責任を持ち、力を最大限発揮出来る様、準備をしてまいります。

監督 中沢 優

この度、第25回新津カップ新潟県大会におきましてkF3クラブ史上初となる県大会優勝を果たしました。大会関係者の皆様はじめ、対戦チーム、応援して

下越地区より「新潟日報杯争奪第22回新潟県女子サッカー選手権大会」の報告

下越地区女子委員長 繁田真名美

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉

北信越大会出場にあり、子どもたち自身も今まで以上に練習に励んでおります。北信越大会優勝という目標に向かって、より8人の連携・連動を意識し迫力のある攻守を目指していきます。新潟県代表としての責任を持ち、力を最大限発揮出来る様、準備をしてまいります。

監督 中沢 優

この度、第25回新津カップ新潟県大会におきましてkF3クラブ史上初となる県大会優勝を果たしました。大会関係者の皆様はじめ、対戦チーム、応援して

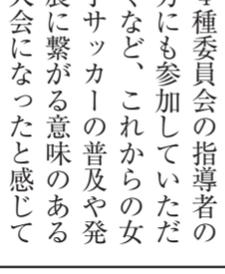
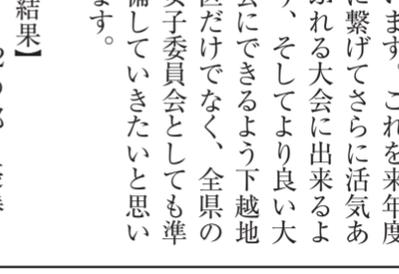
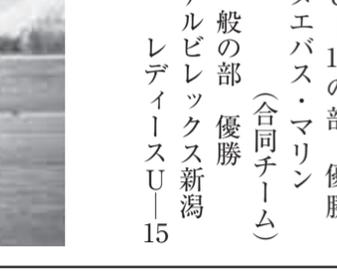
今年度下越地区では、11月11日(土)12日(日)にかけて聖籠スポーツセンターアルビレックスにて、新潟県女子サッカー選手権大会を開催しましたので、その報告をします。

「第15回県民共済カップ新潟県キッズサッカー大会を終えて」

アルビレックス新潟U-12

主将 谷口 大和

優勝できて本当に嬉



実感させてくれる良い大会になりました。また、U-12の部には4種委員会の指導者の方にも参加していただくなど、これからの女子サッカーの普及や発展に繋がる意味のある大会になったと感じています。これを来年度に繋げてさらに活気あふれる大会に出来るよう、そしてより良い大会にできるよう下越地区だけでなく、全県の女子委員会としても準備していきたいと思

優勝 第96回全国高校サッカー選手権大会 新潟県大会 日本文理高校 初優勝!

第96回全国高校サッカー選手権大会
初戦は島根県代表 立正大浜南高校と対戦決定!

12月31日(日) 第2試合 14:10~
浦和駒場スタジアムにて試合開始予定



第96回全国高校サッカー選手権大会
新潟県大会 試合結果

優勝 日本文理高等学校
準優勝 開志学園 JAPAN サッカーカレッジ高等部
第3位 新潟明訓高等学校
" 帝京長岡高等学校

11月12日(日) 決勝戦 12:15~
デンカビッグスワンスタジアム
日本文理 2 - 1 開志JSC

日本文理高等学校

全国大会に向けて

サッカー部監督 駒沢 隆一

全国高校サッカー選手権 新潟県大会で初優勝することができました。大会の運営に当たられた多くの役員の皆様をはじめ、会場で暖かい声援をお送りいただいた全ての皆様から感謝申し上げます。初プリンスリーグ、初インターハイ、初選手権と多くの「初めて」を体験する一年となりました。選手たちは6月の県総体優勝後、達成感だけが先行し心と身体のパランスを失いましたが選手権予選に照準を合わせ、時間はかかりましたがチームの持つ「強み」を取り戻すことを目標に取り組んだ結果、夏冬連覇の達成につながりました。夏のインターハイではセットプレーからの3失点、コンタクトやセカンドボールでも優位に立って、全国上位進出を目指すチームのスタンダード(基準)を見せつけられました。私たちはこの基準をさらに引き上げて準備します。新潟県代表としての「誇り」を胸に、強い「絆」で選手権大会に「挑み」ます。ご声援をよろしく願います。

県大会優勝と全国へ向けて

サッカー部主将 長谷川 龍一

はじめに、大会を運営してくださった皆様と応援していただいた全ての皆様に心から感謝いたします。3年生は入学当初から、選手権大会を制覇することを目標に活動してきました。目標を掲げ、目標を口に出し、達成のために行動しました。高校生活の全てを捧げた3年間、「サッカーより優先されるものはない」という考え方がチームに求められ、多くの試練や挫折を乗り越え、ここまで来たという自信がチームの強みに変化してきました。初の全国出場となった夏のインターハイでは、セットプレーからの3失点という悔しい思いを味わいました。本大会を1ヶ月後に控え、残された期間を大切に過ごしながら、最善の準備をして臨みます。先日の抽選会の結果、島根県の立正大浜南高校との対戦が決定しました。全国大会では覚悟を決め、「一戦必勝」を合言葉に、目の前の相手に勝ちきるサッカーができるよう強気で挑みます。ご声援をよろしく願います。

第41回全日本少年サッカー大会 新潟県大会 アルビレックス新潟U-12 優勝



第41回全日本少年サッカー選手権大会
新潟県大会 試合結果

優勝 アルビレックス新潟U-12
準優勝 長岡 JYFC U-12
第3位 三条サッカースポーツ少年団レッド
第4位 亀田フットボールクラブ

11月4日(土) 決勝戦 長岡ニュータウン
アルビレックス新潟U-12 1-0 長岡 JYFC U-12

第41回全日本少年サッカー大会 新潟県大会を終えて

アルビレックス新潟U-12

監督 対馬 武志

この度、2年連続で新潟県大会において優勝することができました。ベスト16以降の戦いでは、実力的にはほとんど差は無く、どの試合もとても厳しい戦いでした。今年選手たちに求めてきたのは、「得点を取ることから逆算してプレーを考えよう。攻撃では相手ゴールに近いFWを中心に攻撃をすること、相手がボールを保持している時は、攻撃的に奪いに行くこと、そこを徹底してプレーしよう。」ということでした。また、「切り替え」「球際の攻防」「走る」といった基本的な部分では、必ず相手を上回ることも強く求めました。選手たちは日頃培ったそれらの要素を存分に発揮してくれました。

最後になりましたが、今大会を運営してくださった四種委員会の皆様、日頃交流させていただいているチームの皆様など、我々アルビレックス新潟U-12に関わる全ての方々々に感謝申し上げます。

これからが本番

アルビレックス新潟U-12

主将 中川 智也

昨年に続き、今年も全日本少年サッカー大会新潟県大会で優勝することができました。準決勝・決勝の対戦相手とはほとんど互角の戦いで、どちらが勝つもおおかしくない試合展開でした。その中で勝ちきることができたのは、チーム一丸となって声を掛け合い、粘り強く守備をし、最後まで諦めずに勝利を信じて走りぬいたからだと思えます。

この大会を通して僕たちが学んだことは、たとえ相手が強くても、チーム一丸となって協力し合い、一人ひとりが「勝ちたい」という強い思いを持ってプレーすれば結果を出すことができる、ということです。

しかし、僕はこれから本番だと思っています。県大会で優勝できたことは素晴らしいことですが、このまま軽い気持ちで全国大会に出場してしまうと、負けたチームに失礼だと思っています。だからこそ、決勝大会までの期間を、全国のチームに通用するように練習を積んでいきます。そして、これまで支えてきてくれた方々に感謝し、新潟の誇りを胸に、一つでも多く勝利をつかみ取れるように戦ってきます。

平成30年新春・講話とトークショー

期日 平成30年1月14日(日)
会場 新潟グランドホテル

- 1、講話 14時予定
 - 2、トークショー 15時20分予定
 - 3、今期報告と来季の抱負 16時10分予定
 - 4、新年会 16時45分予定
- アルビレックス新潟・両監督

授賞並びに 受賞のお知らせ

この度次の方の授賞並びに
受賞がありましたのでご報告いたします

秋の叙勲

旭日小綬章

顧問

鬼嶋 正之 氏

文部科学大臣表彰

生涯スポーツ功労者賞

顧問

野島 二郎 氏

訃報

次の方がご逝去されました
県サッカー界の発展並びに協会
運営にご尽力いただきましたこと
に感謝申し上げますとともに謹ん
でご冥福をお祈りいたします

参与 桑原 公 様
参与 佐野 克彦 様